

事業所名

多機能型事業所 児童発達支援・放課後等デイサービス ころにエール

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3 月

5 日

法人（事業所）理念		こころをつなぐ「心経」 ”自分を大切にすること” 自分は大切な存在だと思う心”を育みます											
支援方針		身体を十分に動かし、様々な体験を通して豊かな感性を育みます 自分の『こころ』と他者の『こころ』を通わせ、お互いに手を差し伸べて心を包み込める関係性を作ります											
営業時間		平日 土曜日	9 9	時	00 00	分から	18 17	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし	事業所より概ね15分以内
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	○健康な体と心を育てるために、来所時の手洗い・出席帳を用いて自分の体調や気持ちについて考え、気づけるような環境設定を行や関わりを行います。 ○片付け、持ち物の整理整頓、靴の脱ぎ履き、衣服の着脱、排泄、始まりの会を行い日付やスケジュール・時間の確認、料理やお菓子作りを通した食育活動などを通して生活スキルが身につけられるよう支援します。											
	運動・感覚	○日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作・運動などを身につけられるように、大型トランポリンや感覚統合遊具を用いたサーキット遊び、ボール遊び等、楽しく意欲的に取り組むための工夫をします。また、水遊びや様々な素材（片栗粉・小麦・寒天・大豆・スライムなど）、リズム遊び等の活動を通して子どもが保有する視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭覚等の感覚を十分に活用して生活できるよう工夫していきます。											
	認知・行動	○ビジョントレーニング、エールサイエンス、重さ当てクイズ、シール遊び、マッチング、塗り絵、パズル、制作遊び等の活動を通して経験の中から見てわかる形や色、感じて分かる数や量、大きさなどの概念形成を促し「できた」「わかった」といった思いを持ち自尊心を高められるよう工夫していきます。											
	言語 コミュニケーション	○言葉やジェスチャー（身振り手振り）、絵カードなど個々に応じたコミュニケーション方法を考え支援します。 ○言葉遊び、かるた遊び、伝言ゲームなどの活動や、始まりの会でその日の目標を発表する機会を作り、話す力・聞く力を育みます。											
	人間関係 社会性	○事業所外活動（公園・果物狩り・動物園・外食体験など）を通して様々な経験を積みみます。 ○外出時は公共交通機関を利用するなど、将来の自立に繋げていきます。 ○SSTやルールのある遊びを通して、相手の気持ちに気づき、譲る、待つなど社会性を育てていきます。 ○自身の情緒や感情が安定した状態で過ごし、自身の感情に折り合いをつけて日々の活動に取り組めるよう、支援者が「心の安全基地」となるような関わりを行っていきます。											
家族支援		○日々の療育場面の見学や面談などを持つ中で子どもの成長や支援方法などを共有し、ご家庭での実生活に結びつくよう支援します。 ○不安感や困り感を聞き取りながら、安心して子育てできるよう支援します。						移行支援		就園・就学・進学などライフステージの大きな節目に際し、保護者の思いや子どもの活動の様子、それぞれの進む先の情報などを基に、子どもに相応しい環境について保護者とともに考えていきます。			
地域支援・地域連携		利用児の通う園や学校に対し、個別支援計画の見直しや情報交換の場として、園・学校の見学を行い連携した支援が行えるよう努めます。またサービス担当者会等を通じて、関係機関との支援の連携に努めます。						職員の質の向上		○毎月の事業所会議の実施 ○他機関への見学 ○日々の療育内容の評価と反省の実施			
主な行事等		夏祭り、ハロウィン、クリスマス、おもちつき、節分、ひなまつり 等 季節に応じた活動（夏の水遊び、雪遊び）											